

## 県内景況情報

11月期

## 製造業

## 〈食料品〉

## 〔味噌製造業〕

主原料である、国産米の価格は安定しているが、輸入米（MA米）の価格は依然として高値で安定している。また大豆に関しては、国産、輸入の来年2月頃からの価格水準が高値で推移する予想であり、さらに収益を圧迫することが考えられる。

## 〔製麺業〕

中小の麺業者の廃業が結構続いている。後継者がいないことが原因の場合が多い。

## 〔菓子製造業〕

円安の悪影響で原材料の上昇。

## 〈木材・木製品〉

## 〔建具・木材製造業〕

年末に向けて、各工事工期が切迫し、納期対応に生産が追われている状況。円安による材料（輸入合材、新建材、木材）の価格上昇で収益逼迫!!

## 〔仏壇製造業〕

製品の売上が少なく販売店はかなり厳しい状況。製品を作っても売上げに繋がらないため製品を作ることが出来ない。製品が作れないと材料部門は販売店以上に厳しい状況のようだ。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鑄造業〕

船舶の受注は、2-3年先までであるが、鑄物部品の発注は未だない。海外発注の可能性もあり、心配している。

## 〈一般機器〉

## 〔一般機械器具製造業〕

前年同様、前年同月（25/11）は受注増加した時期から前年同月比では減少。前月（26/10）に比べ受注回復を感じている組合員は増加。

## 〈電気機器〉

## 〔電気機械器具製造業〕

11月度売上は10月度に比べ増加（前年同月とは同様）・産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移している。10月度比では若干増加。更なる増産を期待している。

## 〔電気機械器具製造業〕

自動車部品メーカーさんは忙しい。その他はバラバラである。人材については、2交替勤務では人が集まっていない。

## 非製造業

## 〈卸売業〉

## 〔紙製品卸売業〕

国内製紙メーカー各社古紙在庫が減少し逼迫している。円相場が大きく円安傾向に動き出し、前月よりさらに輸出価格が高騰してきている。販売価格高騰により仕入れ競争が激化する様相。

## 〈小売業〉

## 〔燃料小売〕

原油価格下落するも為替は急激な円安が進み、相殺されている。市況は軟化傾向にあり140-150円台と下げ基調。ガソリン価格が安くなってきているので、需要の増加を期待する。

## 〈商店街〉

## 〔福岡市〕

まだまだ厳しい・・・歳末売出しに期待!

## 〈サービス業〉

## 〔クリーニング業〕

消費税増税の影響でまだまだ回復していない。

## 〈建設業〉

## 〔総合工事業〕

業況が分かりにくい状況。受注量の多い組合員もあるが、利益が伴っているのかわからない。一方職人がいないので、多くの受注が出来ない等、不安定な状態。

## 〔豊〕

今月も同じく消費税のあおりで住関連業界は厳しい状況であり、また住宅が建たないうえに洋風化に伴い畳の減少が進み、業界としても、健闘努力奮闘の最中で全組合員の動向を気にしている状況。都市部においてはほぼ安定しているが、郡部では、空洞化、高齢化が進み豊業界に於いても厳しい状況。

## 〔室内装飾業〕

恒常的な職人不足の状態。そんなに忙しくないのに職人は不足。最悪の状況に陥っている。

## 〈運輸業〉

## 〔道路貨物運送業〕

燃料価格自体は下がってきているものの、高水準であるには違いない。高騰対策を講じるべく運送を継続中。高速道路別納制度における料金体系システムの簡便化・利便化を希望。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

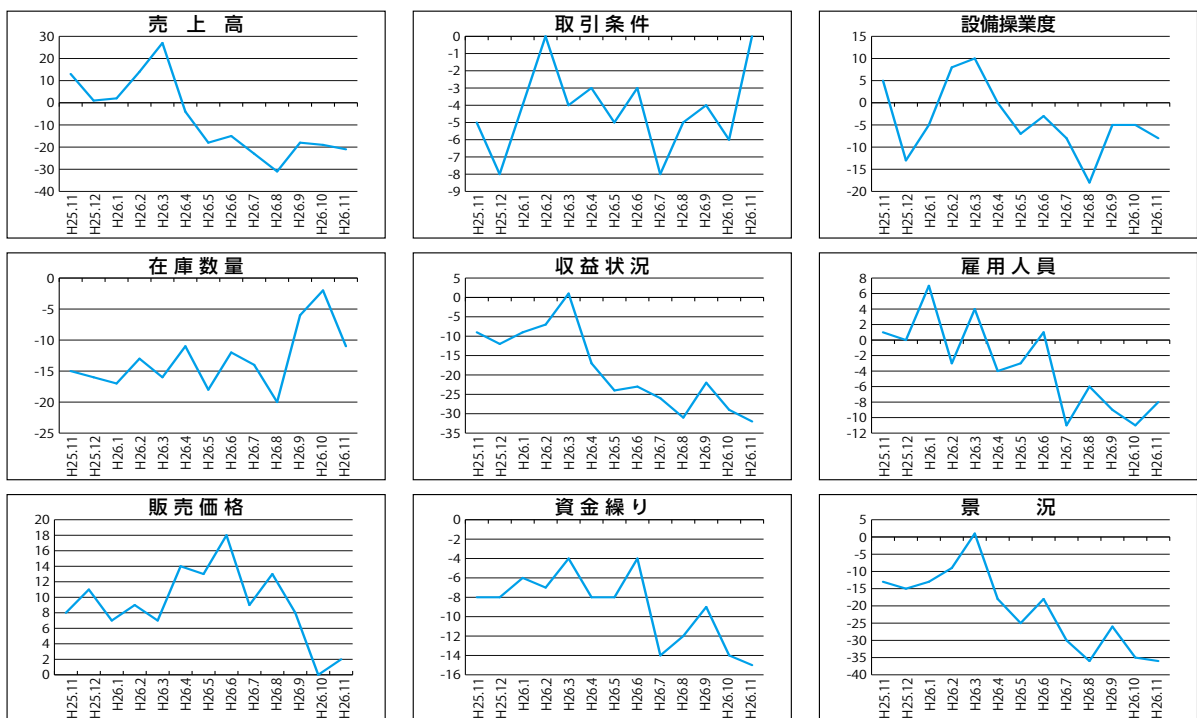
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↑	→	→	↓	→	→	→	↓
	木材・木製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	印刷	↓	→	→	→	↓	→	↓	↓	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	→	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	↓	↓	→	→	↓	↓	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	↓
D・I		-21	-11	2	0	-32	-15	-8	-8	-36

↑ 増加・上昇・好転      → 不変      ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、11月に入って「販売価格」「取引条件」を除くすべての項目が下向きとなっており、景況の先行きが懸念される。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>